

2026（令和8）年度
香川県立保健医療大学大学院
保健医療学研究科
博士前期・後期課程
看護学専攻

学生募集要項

- 出願期間 2025（令和7）年10月1日（水）～10月8日（水）
- 試験期日 2025（令和7）年10月18日（土）



香川県立保健医療大学

The Graduate School of Kagawa Prefectural University of Health Sciences

博士前期課程

研究コース

目 次

I	募集人員	1
II	選抜区分	1
III	出願資格	1
IV	事前相談	2
V	出願資格審査	2
VI	出願手続	4
VII	入学願書等の記入要領	10
VIII	選抜方法等	12
IX	合格発表	14
X	入学手続等	15
XI	ホームページ	16
XII	問い合わせ先	17

保健医療学研究科

I	基本理念・目的	18
II	アドミッションポリシー・カリキュラムポリシー・ディプロマポリシー	18
III	看護学専攻の概要	19
1	専攻の名称及び構成	19
2	学位の名称	19
3	授業科目一覧	20
4	修了要件等	21
5	授業科目の概要	21

I 募集人員

研究科名	専攻名	募集人員
保健医療学研究科	看護学専攻	5人(社会人選抜を含む。)

II 選抜区分

「一般選抜」及び「社会人選抜」を行います。ただし、出願できるのはいずれか一方であり、出願後に選抜区分を変更することはできません。

III 出願資格

1 一般選抜

出願できる者は、次の各号のいずれかに該当する者としてします。

- (1) 学校教育法第 83 条に定める大学を卒業した者及び 2026（令和 8）年 3 月卒業見込みの者
- (2) 学校教育法第 104 条第 7 項の規定により学士の学位を授与された者及び 2026（令和 8）年 3 月までに授与される見込みの者
- (3) 外国において、学校教育における 16 年の課程を修了した者及び 2026（令和 8）年 3 月修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した者及び 2026（令和 8）年 3 月修了見込みの者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び 2026（令和 8）年 3 月修了見込みの者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が 3 年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者及び 2026（令和 8）年 3 月までに学位を授与される見込みの者
- (7) 専修学校の専門課程（修業年限が 4 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び 2026（令和 8）年 3 月までに修了見込みの者
- (8) 学校教育法施行規則第 155 条第 1 項第 6 号の規定により文部科学大臣の指定した者
- (9) 学校教育法第 102 条第 2 項の規定により他の大学院に入学した者であって、本学大学院において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めた者
- (10) 本学大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、2026（令和 8）年 4 月 1 日までに 22 歳に達している者

- (11) 学校教育法第 83 条に定める大学に 3 年以上在学した者又はこれに準ずる者として学校教育法施行規則第 160 条に規定する者であって、本学大学院において、本学の所定の単位を優秀な成績で修得したと認める者

※ 出願資格(10)により出願を希望する者は、出願前に個別の出願資格審査が必要です(「V 出願資格審査」を参照してください。)。

2 社会人選抜

出願できる者は、次の基準をすべて満たす者としします。

- (1) 「1 一般選抜」の出願資格の条件を満たす者
- (2) 看護師、保健師又は助産師の免許を有する者
- (3) (2)の各国家資格者として、通算 3 年以上の実務経験を有している者又は 2026 (令和 8) 年 3 月 31 日までに通算 3 年以上の実務経験が見込まれる者

※ 実務経験とは、医療機関並びに看護学関係の教育・研究・行政機関での従事とします。詳細については、事前相談の際、教員に相談してください。

注 大学院設置基準に基づく授業時間などの特別措置

社会人の方が働きながら学べるよう、大学院設置基準第 14 条の規定により、必要に応じて、夜間、土曜その他特定の時間又は時期に授業・研究指導を行う途を設けています。

また、申し出により標準修業年限(2 年)を超える一定期間の計画的な履修を認めることも可能としていますので、希望される方は、次の「IV 事前相談」による相談の際に、あわせて教員に相談してください。

IV 事前相談

出願を希望する者は、全員、出願前に入学後の研究等について、教員と相談することが必要です。事前相談をせずに出願することはできません。

希望する特別研究の専門領域と教員の選択に当たっては、看護学特別研究 (27～30 ページ) の「講義等の内容」及び「担当教員」を参照してください。

事前相談の申込みは、2025 (令和 7) 年 8 月 5 日 (火)～9 月 17 日 (水)までに、香川県立保健医療大学事務局教務・学生担当 (TEL087-870-1212) まで連絡し、希望する教員と事前相談を行ってください。なお、この申込みの受付時間は、午前 9 時から午後 5 時まで (土曜、日曜及び祝日を除く) とします。

また、次の「V 出願資格審査」を希望する者は、当該申請前まで (2025 (令和 7) 年 9 月 17 日 (水) まで) に事前相談をすませておく必要がありますので、留意してください。

V 出願資格審査

一般選抜出願資格(10) (社会人選抜で一般選抜出願資格(10)に該当する者を含む) で出願を希望する者は、あらかじめ、出願資格の審査を行いますので、「2 提出書類」を封筒(封筒表面に「保健医療学研究科出願資格審査申請書類在中」と朱書きしてください)に入れ、「簡易書留郵便」で郵送又は持参してください。

1 申請期間

2025（令和7）年9月3日（水）から9月17日（水）まで

- ・郵送する場合 9月17日（水）**午後5時必着**とします。
- ・持参する場合 受付時間は午前9時から午後5時までとします。
ただし、土曜、日曜及び祝日は受け付けません。

2 提出書類

提出書類のうち、「大学ホームページからダウンロード」と記載のある書類は、本学ホームページ（<https://www.kagawa-puhs.ac.jp/admission/>）からダウンロードして印刷・記入してください。

（「本学入試情報ページ」→「入学試験 大学院 入試について」→
「看護学専攻 博士前期課程【研究コース】」→「募集要項・出願書類」）

(1) 一般選抜、社会人選抜共通

- ① 出願資格審査申請書(大学ホームページからダウンロード)
- ② 最終出身学校等の卒業(見込)又は修了(見込)証明書
- ③ 最終出身学校等の成績証明書又は調査書等(出身学校等の長が作成し、厳封したもの)
- ④ 審査結果通知返信用封筒(長形3号の封筒の表面に申請者の住所、氏名、郵便番号を記載し、460円分(簡易書留料金含む)の郵便切手を貼付したもの)

(2) 社会人選抜及び一般選抜出願資格(10)に該当する者のみ

- ① 在職期間証明書(大学ホームページからダウンロード)
- ② 免許証の写し(看護師、保健師又は助産師の国家資格に係る免許証の写し(A4サイズに縮小のこと))

※1 上記書類の作成に際しては、「VI-2【STEP 4】提出が必要な出願書類等」の摘要欄及び「VII 入学願書等の記入要領」を参照してください。

※2 **申請書類受理後は、提出された書類は、理由のいかんを問わず返還しません。**

※3 婚姻等による改姓により、現在の氏名と卒業証明書、免許証等の氏名が相違する場合は、戸籍抄本を提出してください。

※4 郵便料金の改定が行われた場合は、新料金の切手を貼付してください。

3 提出先

〒761-0123

香川県高松市牟礼町原 281 番地 1

香川県立保健医療大学事務局 教務・学生担当 (TEL 087-870-1212)

4 審査結果の通知

出願資格の審査結果は、本人あてに郵送します。

2025（令和7）年10月1日（水）までに届かない場合は、前記「3 提出先」に電話で照会してください。なお、認定された方は、所定の期間内に出席手続をしてください。

VI 出願手続

1 出願期間及び出願方法

2025（令和7）年10月1日（水）から10月8日（水）まで

- ・郵送する場合 10月8日（水）**午後5時必着**とします。
- ・持参する場合 受付時間は午前9時から午後5時までとします。
ただし、土曜、日曜及び祝日は受け付けません。

出願は、上記期間内に①「香川県電子申請・届出システム」でのインターネット出願登録、②入学選考料の納付、③出願書類等の提出によって完了します。（①②③のすべてを行わなければ出願が受け付けられません。）

※ 「香川県電子申請・届出システム」は、緊急の作業等のためシステムを停止する場合がありますほか、受付期間終了の直前はシステムが混み合う可能性があるため、余裕をもって申し込みください。なお、使用される機器や通信回線上の障害等によるトラブルについては一切責任を負いません。

2 出願の流れ

STEP 1	STEP 2	STEP 3	STEP 4	
出願前 の確認	・利用者登録 ・インターネット出願登録	入学選考料 の 納 付	出願書類等 の 提 出	・受験票の受取 ・受験

【STEP 1】出願前の確認

○必要なインターネットの環境

「香川県電子申請・届出システム」を利用してインターネット出願登録を行います。下記 URL 又は QR コードからアクセスしてください。なお、必要なインターネットの環境やシステムの使い方は、システム内の「ヘルプ」を参照してください。

香川県電子申請・届出システム

URL : https://apply.e-tumo.jp/pref-kagawa-u/offer/offerList_initDisplay

大学ホームページからもアクセスできます。

URL : <https://www.kagawa-puhs.ac.jp/admission/>

「本学入試情報ページ」→「入学試験 大学院 入試について」→

「看護学専攻 博士前期課程【研究コース】」→「インターネット出願登録を行う」

香川県電子申請・届出システム	大学ホームページ
	

○印刷できる環境の確認

入学願書等のファイルを印刷する必要があるため、印刷できる環境が必要です。自宅にプリンターがない場合は、学校やコンビニエンスストア等の印刷できる環境を事前に確認してください。

【STEP 2】利用者登録・インターネット出願登録

※今後変更になる場合がありますので、最新情報は「香川県電子申請・届出システム」で確認してください。

○利用者登録

「香川県電子申請・届出システム」の「利用者登録」において、利用者情報を登録してください。利用者登録せずに、インターネット出願登録を行うことはできません。

- ・利用者登録説明を読み、同意して進んでください。
- ・利用者区分、メールアドレスを入力して、登録してください。
- ・登録後にメールが送信されますので、メールを確認し、記載された URL より利用者情報登録（パスワード、氏名、住所等）を行ってください。

○インターネット出願登録

「香川県電子申請・届出システム」にアクセスして、インターネット出願登録を行ってください。

「香川県電子申請・届出システム」の操作方法・不明点に関する照会先	・「香川県電子申請・届出システム」画面上段の「ヘルプ」をクリックし、操作方法を確認してください。 ・不明点がある場合は、「ヘルプ」をクリックし、「よくあるご質問」又は「ヘルプ一覧」から照会してください。
----------------------------------	---

- ・「手続き申込」の検索キーワード欄に「香川県立保健医療大学大学院」と入力し、手続き一覧に表示された「2026（令和8）年度香川県立保健医療大学大学院 保健医療学研究科 インターネット出願登録」をクリックしてください。
- ・（ログインしていない場合）「利用者登録」にて登録した ID・パスワードを入力して、ログインしてください。
- ・手続き説明をすべて読み、同意して進んでください。
- ・学生募集要項を参照しながら、下記項目を入力して確認へ進んでください。

■インターネット出願登録の注意事項

番号	入力項目	注意事項
1	志願課程等	○志願する課程・専攻・選抜区分を選択してください。
2	出願資格	○出願資格、学校名等及びその卒業年月を入力してください。 ○出願前の出願資格審査で認定を受けた者は、その認定番号を入力してください。 ○看護師、保健師又は助産師の免許を有している者は、その免許の種類、取得年月日及び免許番号を入力してください。
3	志願者情報	○顔写真は志願者本人の写真データをアップロードしてください。 【顔写真の規格】 ・無帽、正面、本人のみの上半身、背景なし、受験時に眼鏡を着用する場合は必ず眼鏡を着用して撮影されたもの ・縦横比がおおよそ4：3で撮影されたもの ・出願前6カ月以内に撮影したもの ・カラー・白黒のどちらでも可 ・ファイルサイズ：3MB以内 ・ファイル形式：png、jpeg、jpgのいずれか ○住所は、都道府県名から正確に記入し、アパート名、号室等も省略せずに入力してください。
4	合格通知送付先	○合格通知の送付先について、「現住所」と異なる送付先がある場合は入力してください。
5	納付情報	○希望する納付方法を選択してください。 ○選択した納付情報は、インターネット出願登録完了後は変更できません。

- ・「PDF プレビュー」で内容を確認し、修正が無い場合は、「申込む」をクリックしてください。
- ・申込完了画面が表示された後、「PDF ファイルを出力する」をクリックし、入学願書、写真票・受験票を**片面印刷**してください。

【STEP 3】入学選考料の納付

入学選考料は30,000円です。

下記いずれかの方法で納付してください。

○インターネット出願登録で「キャッシュレス決済」を選択した場合

- ・「香川県電子申請・届出システム」の「申込内容照会」をクリックし、手続き名「2026（令和8）年度 香川県立保健医療大学大学院 保健医療学研究科 インターネット出願登録」の「詳細」をクリックして納付へ進んでください。
- ・納付情報の「Omni Payment Gateway（NTT データ決済代行）でお支払い」をクリックし、決済方法を下記から選択して支払いへ進んでください。

（クレジットカード）

カード情報を入力すれば、決済が完了します。クレジットカードの名義人は志願者と同一である必要はありません。

（PayPay、au PAY、d払い）

画面に従って操作を行うと、決済が完了します。

○インターネット出願登録で「普通為替証書を購入して送付」を選択した場合

「香川県電子申請・届出システム」での操作は終了となります。ゆうちょ銀行又は郵便局にて普通為替証書を購入し、出願書類等とともに提出してください。

※香川県電子申請・届出システムから納付することはできません。

【STEP 4】出願書類等の提出

志願者は、出願書類等を一括して封筒に入れ、「**簡易書留郵便**」で郵送又は持参してください。

○提出用封筒を準備

角形2号封筒を準備し、本学ホームページからダウンロードした「宛名シート①（出願書類等提出用）」を貼り付けてください。

○提出が必要な出願書類等

出願書類等のうち、下記の摘要欄に「大学ホームページからダウンロード」と記載のある書類は、本学ホームページ（<https://www.kagawa-puhs.ac.jp/admission/>）からダウンロードして印刷・記入してください。

（「本学入試情報ページ」→「入学試験 大学院 入試について」→

「看護学専攻 博士前期課程【研究コース】」→「募集要項・出願書類」）

出願書類等	選抜区分		摘 要
	一 般	社 会 人	
入学願書	◎	◎	（香川県電子申請・届出システムからダウンロード） 入学願書を 片面印刷 してください。
履歴書	◎	◎	（大学ホームページからダウンロード） 「Ⅶ 入学願書等の記入要領」を参照して、必要事項を記入してください。

出願書類等	選抜区分		摘 要
	一 般	社 会 人	
写真票・受験票	◎	◎	(香川県電子申請・届出システムからダウンロード) 写真票・受験票を 片面印刷 してください。
卒 業 ・ 修 了 (見 込) 証 明 書	◎	◎	最終出身大学等の長又は出願資格に該当する出身学校長 が作成したものを提出してください。なお、本学を卒業見 込の者は提出する必要はありません。 ※ 「Ⅴ 出願資格審査」で提出した場合は不要です。
成 績 証 明 書	◎	◎	最終出身大学等の長又は出願資格に該当する出身学校長 が作成し、厳封したものを提出してください。 なお、成績証明書の成績欄に編入学等により認定されて いる科目がある場合には、編入学前の学校の成績証明書も 併せて提出してください。 ※ 「Ⅴ 出願資格審査」で提出した場合は不要です。
学 士 の 学 位 授 与 (見込) 証明書等	○	○	「Ⅲ 出願資格」の1-(2)で出願する者が提出してくだ さい。 学位授与機構が発行する学士の学位授与(見込)証明書 若しくは短期大学長又は高等専門学校長の発行する学位授 与申請(予定)証明書を提出してください。
志 願 理 由 書	◎	◎	(大学ホームページからダウンロード) 本研究科への志望動機、志望専攻・コース・領域におい て希望する研究テーマを記入してください。
在 職 期 間 証 明 書	○	◎	(大学ホームページからダウンロード) 「Ⅲ 出願資格」の1-(10)又は社会人選抜で出願しよう とする者が提出してください。 ※ 「Ⅴ 出願資格審査」で提出した場合は不要です。
承 諾 書	○	○	(大学ホームページからダウンロード) 在職のまま出願しようとする者は、所属長による承諾書 を提出してください。
免 許 証 の 写 し	○	◎	「Ⅲ 出願資格」の1-(10)又は社会人選抜で出願しよう とする者が提出してください。 看護師、保健師又は助産師の免許証の写しを A4サイズ に縮小 してください。 ※ 「Ⅴ 出願資格審査」で提出した場合は不要です。
普通為替証書 (入 学 選 考 料)	○	○	入学選考料の納付方法で「普通為替証書を購入して送付」 を選択した者は提出してください。 ※ 普通為替証書には何も記入しないでください。

出願書類等	選抜区分		摘 要
	一 般	社 会 人	
証券送付書	○	○	(大学ホームページからダウンロード) 入学選考料の納付方法で「普通為替証書を購入して送付」を選択した者は提出してください。
受験票返送用封筒	◎	◎	(大学ホームページからダウンロード) 長形3号封筒を準備し、宛名シート②(受験票返送用)を貼り付けてください。宛名シートには、住所、氏名、郵便番号を記入し、切手を貼付してください。手続き完了後、受験票を返送します。
出 願 書 類 等 チェックシート	◎	◎	(大学ホームページからダウンロード) 出願書類等に不足がないか確認し、チェックして提出してください。
※1 ◎印は全員必須、○印は該当者のみ提出する書類です。 ※2 外国語で作成された書類には、必ず日本語訳を添付してください。それが困難な場合は、相談してください。 ※3 郵便料金の改定が行われた場合は、新料金の切手を貼付してください。 ※4 婚姻等による改姓により、現在の氏名と卒業証明書、免許証等の氏名が相違する場合は、戸籍抄本を提出してください。ただし、「V 出願資格審査」で提出した場合は不要です。 ※5 日本国籍を有しない者は、入学に際して、別途提出いただく書類があります。			

3 出願先

〒761-0123

香川県高松市牟礼町原 281 番地 1

香川県立保健医療大学事務局 教務・学生担当 (TEL 087-870-1212)

4 出願上の注意

- (1) 出願書類等に不備がある場合は、受理できませんので、十分注意してください。
- (2) 出願書類等に虚偽の記入をした者は、入学後であっても、入学許可を取り消すことがあります。
- (3) **受理した出願書類等及び入学選考料は、理由のいかんを問わず返還しません。**
- (4) インターネット出願登録完了後は、出願事項(志願課程等)の変更は認めませんので、注意してください。
- (5) 出願手続を完了した者には、受験票を郵送します。

なお、2025(令和7)年10月14日(火)になっても受験票が届かない場合は、前記「3 出願先」に電話で照会してください。

- (6) 障がいがある等、受験上特別な措置及び修学上特別な配慮を必要とする可能性がある入学志願者は、2025（令和7）年9月17日（水）までに、あらかじめ前記「3 出願先」に連絡し、相談してください。
- (7) 出願書類等から取得した個人情報、入学試験に係る資料としてのみ利用し、取得した個人情報を第三者に提供することはありません。

VII 入学願書等の記入要領

◎ 共通事項

- ・ ※印の欄には、記入しないこと。
- ・ ※印の欄を除き、各書類の注意事項等にそって必要事項を入力・記入すること。
- ・ 記入に当たっては、黒色のペン又はボールペンを使用し、楷書ではっきりと記入すること。パソコン入力可能な出願書類等については、パソコンで入力した書類等の提出を認めます。
- ・ 香川県電子申請・届出システム及び大学ホームページからダウンロードする出願書類等は、**A4用紙に片面印刷**してください。

○ 入学願書

- ・ インターネット出願登録後、志願者情報（氏名・住所・電話番号等）に誤りがあった場合は、該当箇所を二重線で消し、赤字で修正後の内容を記入すること。なお、香川県電子申請・届出システムでの登録内容の修正はできません。

○ 履歴書

- ・ 西暦で入力すること。
- ・ 学歴は、高等学校卒業から入力し、大学は学部・学科（課程・専攻）名まで入力すること。職歴がある場合は、勤務先等を入力すること。なお、欄が不足する場合は、別紙として添付すること。

○ 写真票・受験票

- ・ 写真票・受験票・確認事項は切り離さないで提出すること。

○ 出願資格審査申請書

- ・ 「フリガナ」は必ず記入すること。
- ・ 西暦で記入すること。
- ・ 「履歴事項」欄の「学歴」は、高等学校卒業から記入し、大学は学部・学科（課程・専攻）名まで記入すること。職歴がある場合は、勤務先等を記入すること。なお、欄が不足する場合は、別紙として添付すること。

また、看護師、保健師又は助産師の免許を有している者は、「免許」欄に取得年月日及び免許番号を記入すること。

- ・ 「現住所」及び「審査結果通知先」欄は、都道府県名から正確に記入し、アパート名、号室等も省略せずに記入するとともに、郵便番号を必ず記入すること。また、提出後に変更があった場合は、直ちに連絡すること。

なお、「審査結果通知先」が「現住所」と同じ場合は、「同上」と記入すること。

- 誤って記入した場合は、該当箇所を二重線で消し、赤字で修正後の内容を記入すること。

上記の他、各書類等に記載している注意事項に従って記入すること。

VIII 選抜方法等

入学者の選抜は、学力試験（専門科目、英語）及び面接の結果並びに出願書類等を総合して、総合得点で可否を判定します。

なお、総合得点が同点の場合は、専門科目の点数が高い者を優先します。

1 試験科目等

科目等	配点	備考
専門科目	200	専攻に関する問題
英 語	100	英和辞書1冊の持込可（電子辞書は不可）
面 接	100	個人面接

※ 配点は、一般選抜と社会人選抜では異なります。

区 分	科目等	配 点
一 般 選 抜	専門科目	200
	英 語	100
	面 接	100
	合 計	400
社 会 人 選 抜	専門科目	225
	英 語	75
	面 接	100
	合 計	400

※ 社会人選抜は、一般選抜と同様に、専門科目は200点満点、英語は100点満点で採点し、専門科目を1.125倍とし、英語を0.75倍とします。

2 試験日程（一般選抜・社会人選抜共通）

試 験 日	試験科目等	時 間
2025（令和7）年 10月18日（土）	受 験 者 集 合	9:00
	注意事項等連絡	9:00 ～ 9:15
	専 門 科 目	9:20 ～ 10:50
	英 語	11:10 ～ 12:10
	昼 食	12:10 ～ 13:00
	受 験 者 集 合	13:00
	面 接	13:10 ～

3 受験上の注意事項

- (1) 入学試験当日は、午前9時までに試験室に入り、受験票を机の上に置いて着席してください。

なお、受験票を忘れた場合は、係員に申し出て指示を受けてください。

- (2) 集合時間に遅刻した場合は、学力試験開始後 30 分以内の遅刻に限り受験を認めます。ただし、試験時間の延長及び面接試験における遅刻は認めません。
なお、面接は受験者ごとに開始時間が異なりますので、注意してください。
また、学力試験を受験しなかった者は、面接を受けることはできません。
- (3) 試験会場では、監督者の指示に従ってください。
- (4) 机の上には、受験票・HB又はBの鉛筆（シャープペンシル）・消しゴム・時計（計時機能だけのもの）・英和辞書 1 冊（英語の試験のみ（電子辞書の持込みは不可））以外のものは置かないでください。
- (5) 携帯電話、スマートフォン等は、電源を切ってカバンの中にしまっておいてください。
- (6) 昼食（飲み物を含む）は各自で準備してください。学内の自動販売機は利用できません。

4 試験会場

香川県立保健医療大学

香川県高松市牟礼町原 281 番地 1

TEL 087-870-1212

※1 試験会場は、最終ページの**入学試験会場案内図**を参照してください。

※2 試験会場の下見はできますが、建物内への立入りはできません。

※3 合否電報・電話の取扱い等の勧誘をする者があっても、**本学とは一切関係がありません。**

Ⅸ 合格発表

1 発表日・発表方法

2025（令和7）年 10 月 24 日（金）午前9時に、香川県立保健医療大学 アプローチ広場掲示板に合格者の受験番号を掲示するとともに、合格者には、文書で通知します。

また、本学のホームページ（<https://www.kagawa-puhs.ac.jp/>）上においても、合格者受験番号を掲載します（同日午前9時過ぎの予定。）。

なお、ホームページ掲載は、本学が情報提供の一環として行うものであり、公式の合格発表は、本学掲示板、合格通知書で行います。

2 追加合格

入学手続き者が入学定員に満たなかった場合には、追加合格を行うことがあります。

追加合格は、2025（令和7）年 10 月 31 日（金）午後5時以降、該当者あてに入学願書に記載された連絡先に電話で通知します。この電話連絡は、2025（令和7）年 11 月 4 日（火）までに行うよう配慮しますので、この期間は、入学願書の連絡先に所在する等、本人と直接連絡が取れるようにしておいてください。

なお、追加合格者の入学手続等については、追加合格通知時に指示します。

3 その他

- (1) **電話等による合否の問い合わせには、一切応じません。**
- (2) 合否以外の受験に関する問い合わせは、志願者本人が行ってください。
- (3) 入学試験成績の情報提供については、受験者本人の請求に基づき、次の要領により提供します。

- ・請求期間

2025（令和7）年 10 月 24 日（金）～2025（令和7）年 11 月 25 日（火）（土曜、日曜及び祝日を除く。）

- ・提供内容

科目別得点及び総合得点

- ・請求方法

受験者本人が、本学事務局窓口の本学の受験票を持参のうえ、請求してください。（受付時間は、9：00～12：00 及び 13：00～17：00 です。）

X 入学手続等

1 入学手続の期間

2025（令和7）年10月29日（水）から10月31日（金）まで

- ・郵送する場合 10月31日（金）**午後5時必着**とします。
- ・持参する場合 受付時間は午前9時から午後5時までとします。

2 手続場所

〒761-0123

香川県高松市牟礼町原 281 番地 1

香川県立保健医療大学事務局 教務・学生担当（TEL 087-870-1212）

3 入学手続

- (1) 上記2の場所へ、「4 提出書類等」を一括し、**簡易書留扱いの郵便又は直接持参**により提出してください。
- (2) 上記1の期間内に入学手続を完了しない場合は、入学を辞退したものとして取り扱います。
- (3) 入学手続を行うのは、代理人でも差し支えありません。
- (4) **入学金は、納入後、理由のいかんを問わず返還しません。**
- (5) 詳細については、合格通知時に通知します。

4 提出書類等

- (1) 誓約書(本学所定様式)
- (2) 卒業(修了)証明書(卒業(修了)見込みで受験した者は、卒業(修了)証明書を別途指示する日までに提出すること。)
- (3) 学位授与証明書(学位授与見込みで受験した者は、学位授与証明書を別途指示する日までに提出すること。)
- (4) 入学金の領収書のコピー
- (5) 縦4cm×横3cmの同じ写真2枚(正面上半身無帽、背景なし、最近6か月以内に撮影したもの、カラー、裏面に**専攻名・氏名**を明記したもの)
- (6) ア 本人が2025（令和7）年4月1日以前から香川県内に住所を有している場合
本人の住民票（マイナンバーの表示がないもの）
イ 本人の配偶者又は一親等の親族が2025（令和7）年4月1日以前から香川県内に住所を有している場合
配偶者又は一親等の親族の住民票（マイナンバーの表示がないもの）及び本人との関係を証明する戸籍抄本

5 入学金（予定金額）

- (1) 県内者 197,400 円
- (2) 上記以外の者 366,600 円

※ 「県内者」とは、2025（令和7）年4月1日以前から引き続き香川県内に住所を有する者並びにその配偶者及び一親等の親族をいいます。

6 授業料（予定金額）

- (1) 年額 535,800 円
- (2) 各年度に係る授業料は、前期及び後期の2学期に区分して納付するものとし、それぞれの学期において納付する額は、年額の2分の1に相当する額とします。
 - ① 前期納付期限 4月末日 (267,900 円)
 - ② 後期納付期限 10月末日 (267,900 円)
- (3) 在学中に授業料の改定が行われた場合には、改定時から新たな授業料が適用されます。

7 授業料等減免制度

経済的理由その他やむを得ない事情により授業料等の納付が困難であり、かつ学業成績が優秀であると認めた学生に対し、授業料等の全部又は一部を免除する制度等があります。

8 奨学金制度

独立行政法人日本学生支援機構による奨学金には、第一種奨学金（無利子）と第二種奨学金（有利子）の制度があります。

- ・ 第一種奨学金

特に優れた学生で経済的理由により著しく修学に困難がある者

貸与月額（2025（令和7）年度） 50,000 円、88,000 円のうち希望額を選択

- ・ 第二種奨学金

優れた学生で経済的理由により修学に困難がある者

貸与月額（2025（令和7）年度） 50,000 円、80,000 円、100,000 円、130,000 円、150,000 円のうち希望額を選択

※ 詳細については、独立行政法人日本学生支援機構ホームページ(<https://www.jasso.go.jp/>)を確認ください。

9 その他の必要経費等

入学後には、教科書、教材等に係る経費及び後援会費等が別途必要になります。

後援会費については次のとおりです。

- ・ 年会費 20,000 円
- ・ 教材用経費等 2年間分 30,000 円
- ・ 納付期限 4月末日（年会費は、2年次も必要です。）。

なお、学生は傷害事故及び賠償事故等についての保険に加入しますが、当該保険料は後援会費の中から負担します。

10 その他

学生寮はありません。

XI ホームページ

大学案内や入試情報を掲載したホームページを開設しています。

URL <https://www.kagawa-puhs.ac.jp/>

XⅡ 問い合わせ先

香川県立保健医療大学事務局 教務・学生担当
〒761-0123

香川県高松市牟礼町原 281 番地 1

TEL 087-870-1212

Fax 087-870-1202

I 保健医療学研究科の基本理念・目的

人々の健康と自立の支援を基本理念として、保健医療の分野においてより高度で専門的な学術理論及び実践能力を修得するとともに、包括的な判断能力と指導力を有する高度専門職業人を育成することにより、保健・医療・福祉が連携した質の高い総合的サービスを提供し、高度な専門知識を持ち、新規かつ独創的な研究成果を発信する研究能力を持つ教育者・研究者を育成することにより、地域保健医療の質向上、人々の健康増進、ひいては、健康長寿社会の推進や次世代育成支援に寄与する。

II 看護学専攻のアドミッションポリシー、カリキュラムポリシー、ディプロマポリシー

1 アドミッションポリシー

本学大学院保健医療学研究科看護学専攻では、基本理念・目的を達成するため、次のような資質を備えた人を求めています。

- (1) 生命の尊厳を畏敬する深い人間愛と洞察力をもつ人
- (2) 看護の課題を科学的に探究し、エビデンスを活用する専門性をもちリーダーシップの発揮を志す人
- (3) 看護実践や教育・研究に対する真摯な構想力や想像力、実践力を高めようとする人
- (4) 看護学の発展に寄与できるアイデンティティを形成し、知識基盤社会の発展を目指して真理の追究を志す人

2 カリキュラムポリシー

保健医療学研究科看護学専攻の教育目的に則って、エビデンスのある看護実践を創造する基礎的研究能力を身に付けると共に、専門性の高い看護実践能力を持ち、地域の保健・医療・福祉の場で、リーダーシップとマネジメント力を発揮し、地域の保健医療活動や後輩育成に貢献できる人材を輩出するために、以下のような方針に基づいてカリキュラムを編成する。

博士前期課程は、専門共通科目 16 単位以上（必修 6 単位、選択 10 単位以上）と専門領域科目 4 単位以上、特別研究 10 単位を修得する。

専門共通科目は、広い視野で看護実践やその課題を捉えられ看護学研究の基盤となる 12 科目「先端医学論」「チーム医療特論」「保健統計学特論」「生命・医療倫理論」「英論文作成概論」「看護理論」「看護と哲学」「質的研究方法論」「量的研究方法論」「地域包括ケア特論」「看護政策特論」「看護教育学特論」を置く。

専門領域科目は、看護実践の探求と基礎的研究能力を育成するために各専門領域において「特論」「演習」を置く。

専門領域は、「基盤開発看護学領域」「地域看護学領域」「精神保健看護学領域」「療養支援看護学領域」「次世代育成看護学領域」の 5 領域で構成し、看護実践の質の向上と変革をめざす。

- (1) 基盤開発看護学領域では、あらゆる看護の対象と場における共通基盤である「看護専門職として成長・発展」および「エビデンスに基づく看護」について探究する。
- (2) 地域看護学領域では、地域における今日的課題を考究すると共に、地域で生活する個人・家族・集団および地域を対象とした看護実践において、生活の質の向上に貢献できる看護実践力や方策を探究する。

- (3) 精神保健看護学領域では、メンタルヘルスに健康問題を持つ本人と家族を取り巻く人々がその人らしい生活が生き生きと送れ、生活の質の向上を支援する看護実践を探究する。
- (4) 療養支援看護学領域では、疾患や加齢により療養しているあらゆる健康レベルの本人や家族を対象として、臨床における対象者の生活の質を高める看護実践・開発を探究する。
- (5) 次世代育成看護学領域では、次世代を育成する看護の観点から、周産期の妊産褥婦を含め広く女性を対象とした健康支援や子どもや家族の発達支援を探究する。
- 特別研究は、研究課題となる専門領域科目の特論と演習における学修に連動した研究を遂行し、専門性を深く探究した修士論文を完成させる。

3 ディプロマポリシー

修了要件となる単位を修得するとともに、必要な研究指導を計画的に受けた上で修士論文を作成し、保健医療学研究科看護学専攻が行う修士論文の審査及び最終試験に合格し、下記の条件をすべて満たす者に修士（看護学）の学位を授与する。

- (1) 研究課題を探索し、研究目的に応じた方法を用いて成果を生み出す能力を有する。
- (2) 看護の実践と研究において、倫理的判断と行動が遂行できる能力を有する。
- (3) 専門領域の研究知見と看護実践の動向を把握し、批判的に検討し統合する能力を有する。
- (4) 他者との討論を通して、自己と他者およびチームの成長につなげる能力を有する。

入試区分	募集人数	選抜方法	評価内容 点数	学力の3要素	・思考力・判断力・表現力	・知識・技能、 ・思考力・判断力・表現力		・主体性・協働して学ぶ態度
				アドミッション・ポリシー	・生命の尊厳を畏敬する深い人間愛と洞察力をもつ人	・看護の課題を科学的に探究し、エビデンスを活用する専門性をもちリーダーシップの発揮を志す人	・看護実践や教育・研究に対する真摯な構想力や想像力、実践力を高めようとする人	・看護学の発展に寄与できるアイデンティティを形成し、知識基盤社会の発展を目指して真理の追究を志す人
				評価項目	生命の尊厳を重視する	科学的な探究力を有する	看護実践力の向上を志向する	看護学の発展・真理の追究を志すアイデンティティを有する
博士前期	25名: 研究コース・実践者養成コース(助産学・公衆衛生看護学)	専門科目	200 (比重*:50)		○	○	○	○
		英語	100 (比重*:25)			○		
		面接	100 (比重*:25)		○	○	○	○

*合計点に対する選抜方法ごとの素点の割合(%)

Ⅲ 看護学専攻の概要

1 専攻の名称及び構成

研究科名	専攻名	専門領域名
保健医療学研究科	看護学専攻	基盤開発看護学領域
		地域看護学領域
		精神保健看護学領域
		療養支援看護学領域
		次世代育成看護学領域

2 学位の名称

修士(看護学)

3 授業科目一覧

科目 区分	授業科目の名称		配当年次	単位数		授業形態		備考
				必修	選択	講義	演習	
専門 共通科目	先端医学論		1 前		2	○		オムニバス※
	チーム医療特論		1 後		2	○		オムニバス※
	保健統計学特論		1 前		2	○		
	生命・医療倫理論		1 後		2	○		※
	英論文作成概論		1 前		2	○		
	看護理論		1 前	2		○		
	看護と哲学		1 前		2	○		
	質的研究方法論		1 前	2		○		
	量的研究方法論		1 前	2		○		
	地域包括ケア特論		1 後		2	○		
	看護政策特論		1 後		2	○		
	看護教育学特論		1 後		2	○		
	小計(12 科目)		—	6	18	—		—
専門 領域科目	看護学領域 基盤開発	基盤看護学特論	1 前		2	○		
		基盤看護学演習	1 後		2		○	
		小計(2 科目)	—	0	4	—		—
	看護学領域 地域看護学領域	公衆衛生看護学特論	1 前		2	○		
		公衆衛生看護学演習	1 後		2		○	
		在宅看護学特論	1 前		2	○		
		在宅看護学演習	1 後		2		○	
		小計(4 科目)	—	0	8	—		—
	看護学領域 精神保健	精神保健看護学特論	1 前		2	○		
		精神保健看護学演習	1 後		2		○	
		小計(2 科目)	—	0	4	—		—
	看護学領域 療養支援看護学領域	臨床実践看護学特論	1 前		2	○		
		臨床実践看護学演習	1 後		2		○	
		老年看護学特論	1 前		2	○		
		老年看護学演習	1 後		2		○	
		小計(4 科目)	—	0	8	—		—
	看護学領域 次世代育成	ウィメンズヘルス看護学特論	1 前		2	○		
		ウィメンズヘルス看護学演習	1 後		2		○	
		小児看護学特論	1 前		2	○		
		小児看護学演習	1 後		2		○	
		小計(4 科目)	—	0	8	—		—
特別 研究科目	看護学特別研究		2 通	10			○	
	小計(1 科目)		—	10	0	—		—
合計				16	50	—		—

備考欄の※は臨床検査学専攻との合同授業科目

4 修了要件等

専門共通科目 16 単位以上（必修 6 単位、選択 10 単位以上）と専門領域科目 4 単位以上及び特別研究 10 単位の合計 30 単位以上を修得する。加えて必要な研究指導を受けたうえで、修士論文の審査及び最終試験に合格すること。

5 授業科目の概要

科目 区分	授業科目の名称	講義等の内容	担当教員
専 門 共 通 科 目	先端医学論	近年、医学における技術の進歩は目覚ましいものがある。医療の現場に最新の技術が導入された場合、医療従事者として円滑に対応していく必要がある。本講では、注目されている先進医学のトピックス、導入に際しての課題、将来の展望などを学習し、医療現場において先進的医療にも対応できる資質を高めることを目標とする。 (オムニバス方式/全 15 回) 先端医学総論 5 回 岡田 仁 先端医学各論 10 回 古山達雄、奥田潤、平川栄一郎、樋本尚志、多田達史	教授 古山達雄 教授 奥田 潤 教授 平川栄一郎 教授 樋本尚志 教授 多田達史 教授 岡田 仁
	チーム医療特論	より建設的なコラボレーションや創造的な医療現場を作ること を目的に、超メタ理論としての構造構成主義の中核概念である関心相関性の原理を学習する。さらに、不毛な対立を克服し建設的に対立する信念対立解明アプローチの理論と技法を学び、医療現場における信念対立を解明し、より妥当な判断を生み出していくことを具体的な事例を交え探究する。	教授 多田達史 准教授 森田公美子
	保健統計学特論	ライフサイエンスに関連する各分野において、集団を対象にしたデータ収集をとともう研究は、エビデンスの導出など当該分野の発展において重要な役割を果たしている。本講義では、定量的データを介して真理を探究する研究（量的研究）の実施のために、研究計画、データ収集・管理、データ分析、結果の公表の各段階において必要となる手続き、統計学に関する知識やその活用について、統計解析ソフト（JMP）を使って学修する。	教授 比江島欣慎
	生命・医療倫理論	バイオサイエンス及び医療に従事する研究者、高度専門職業人は、人権、生命倫理に十分な配慮を行いながら、医療を実践して行かなければならない。生命科学の発展に伴って新たに生じた倫理的諸問題、古くから解決の難しい医療倫理の問いについて、包括的にあるいは個別に、基礎知識や基本的考え方を学ぶ。事例を用いたグループワーク、討議、ロールプレイ等の手法も用いることで、「正解」を見つけにくい問いの前で、それでも考え続けることが倫理の本質であることを学ぶ。	教授 植村裕子 教授 岡田 仁 准教授 大栗聖由 非常勤講師 塩田敦子

科目 区分	授業科目の名称	講義等の内容	担当教員
専 門 共 通 科 目	英論文作成概論	研究で得られた成果を英論文として投稿する、あるいは和文論文においても英文アブストラクトを記述するために必要な英論文作成法の基礎について修得する。英論文を科学的に構成する要素を理解し、アクセプトされるための執筆・投稿のポイントを押さえる。さらに各研究デザイン特有の英語表現の事例等を検討する。	教 授 南 貴子
	看護理論	卓越した看護実践の基盤となる「看護の諸理論」を理解するための知識を得る。さらに、実践への適応とその限界を検討し、看護実践における理論の意義を探究する。 (1) 看護実践・看護理論・看護研究に影響を及ぼしてきた思想や理論の変遷を理解する。 (2) 学んだ看護理論の知識を活用して、実践事例への適用を試み、分析的・批判的に検討する。 (3) 今日の臨床看護の実践、理論、研究を支える看護の理論的基盤の在り方について議論する。	教 授 近藤真紀子 教 授 小野美穂 准教授 岩本真紀 准教授 森田公美子 講 師 岡西幸恵
	看護と哲学	看護学と哲学は、離れた存在に見える。しかし、医療の現場で起きる疑問や問いに対し、深く「考える」ためには、哲学の力が必要である。看護実践における問いに対し、既成の概念や枠組みを棚上げしたうえで、根本的に問い考え捉えなおすことで、実践している看護の重要性や普遍性を再認識するとともに、新しい考え方や枠組みを創出することが可能になる。 本講では、これまでの哲学の流れを学修し、「人間は世界をどう認識しているのか」についての理解を深めるとともに、哲学の必要性を認識したエピソードを自己開示し、その問いに対する考えと根拠を示し、知識や価値観の体系化に挑戦する。	教 授 近藤真紀子 准教授 森田公美子 非常勤講師 出村和彦
	質的研究方法論	質的研究手法を用いた論文のクリティーク、質的研究手法を用いた修士論文の実施を目指して、質的研究の基礎について探求する。 (1) 看護実践における質的研究の意義 (2) 質的研究の理論的基盤 (3) 質的研究の種類 (4) 質的研究のデータ収集と分析 (5) 質的研究の評価	教 授 近藤真紀子 准教授 岩本真紀 准教授 岡田麻里
	量的研究方法論	ライフサイエンスに関連する各分野において、原因と結果の関連性は極めて関心の高い話題の1つである。多くの研究・調査が興味の因果を推論するために実施され、その結果はエビデンスとして現場で活用されている。こうした研究・調査を正しく実施したり、その結果を正しく活用したりするためには疫学・統計学の知識は必要不可欠である。本講義では、因果推論に必要とされる疫学・統計学の基本的な知識を学修し、研究デザインやバイアスを考慮した因果の指標の計算や解釈ができるようになることを目指す。	教 授 比江島欣愼 教 授 片山陽子 講 師 竹内千夏

科目 区分	授業科目の名称	講義等の内容	担当教員
専 門 共 通 科 目	地域包括ケア特論	少子超高齢社会を迎え、多様なライフステージ及び健康状態の対象を全人的に理解し、地域で包括的にケアするシステムの構築が求められている。地域包括ケアの本質を理解し、地域包括ケアシステムを取り巻く社会的背景や現状、今日的課題を明確化した上で、地域包括ケア推進における政策面の知見を学修し、医療・保健・福祉のあり方や多職種連携・協働を考察する。さらに、看護職がマネジメントすることの意義を考究し、学生自身の探究課題に基づき、地域包括ケアを推進するための課題解決への実践的示唆を共修する。	教 授 片山陽子 教 授 辻よしみ
	看護政策特論	看護制度と政策との関連を理解し、看護に求められる社会的責務と政策について探求する。 (1) 看護にとっての政策課題やその変遷を理解する。 (2) 制作過程を理解し、政策課程への参画について学ぶ (3) 看護政策の具体的な動きを知り、政策実現のインパクトについて学ぶ。	非常勤講師 井伊久美子
	看護教育学特論	看護専門職の継続教育及びキャリア開発に関する諸理論について理解を深め、看護学教育（基礎教育・継続養育）を展開する場で活用するための基礎的能力を身につける。 (1) 看護キャリア開発に関する考え方を理解し、自己および他者のキャリア開発について検討する。 (2) 看護実践能力の概念と構造を理解し、能力開発の方法と評価に関する現状を分析する。 (3) 成人学習の原理について理解し、看護教育指導者としての支援方法について探求できる。 (4) 看護専門職のキャリア及び能力開発の考え方をもとに、看護学生や看護職者への教育体制や教育環境の在り方について考察する。	教 授 小野美穂

科目区分		授業科目の名称	講義等の内容	担当教員
専門領域科目	基盤開発看護学領域	基盤看護学特論	あらゆる看護の対象と場における共通基盤である「看護専門職としての成長・発展」および「エビデンスに基づく看護」について探求する。基盤看護学の範囲から自己の関心ある現象を焦点化し、関連する諸理論、制度政策、実践方法、開発課題などを理解すると共に、自己の研究領域や研究対象を検討する。学生の関心事項に沿って、講義、学生によるプレゼンテーション、討論を組み合わせる授業を展開する。	教授 小野美穂 教授 呉 小玉 教授 筒井邦彦
		基盤看護学演習	研究に取り組む上での自己の問題意識を明確にして、国内外の文献レビューを行い、研究課題を設定する。まず、文献レビュー方法を理解し、研究論文を検索入手した後、研究論文の情報を整理する。次に、個々の研究論文を評価し、評価した内容を比較検討する。研究論文全体の傾向を総括して、自分の研究課題につなげる。さらに、研究目的に見合った研究方法を探求し、研究方法の修得に取り組む。	教授 小野美穂 教授 呉 小玉 教授 筒井邦彦
	地域看護学領域	公衆衛生看護学特論	地域全体を看護の対象ととらえ、そのしくみや地域保健のあり方を考えて地域を看護する活動の展開が求められている。そこで、本講では地域診断に関連するモデルや地域で生活する人々に対する多様な看護実践方法を学び、個人・家族・集団の健康と自立を目指す専門的実践のあり方を追求する。また、地域で生活する個人や家族、地域社会のつながりに着目し、風土や生活様式をも視野に入れた公衆衛生看護の理論的背景を学び、アセスメントや看護方法及びケアマネジメント、ケアシステムについて探究する。	教授 辻よしみ 教授 佐々木純子 講師 植原千明
		公衆衛生看護学演習	地域診断や個別事例のアセスメントを踏まえ、地域住民の健康と自立を目指すケアマネジメントや地域ケアシステムの構築及び保健計画の立案など地域における公衆衛生看護の実践能力や方策について探究する。また、コミュニティアセスメントや個別事例からみた地域の健康課題の発表と討議、当該健康課題から立案した保健計画や公衆衛生看護実践についての討議並びに公衆衛生看護関連文献レビューと討議、研究計画書の立案検討及び発表・討議を通して研究課題を見出し、修士論文に反映させる。	教授 辻よしみ 教授 佐々木純子 講師 植原千明
		在宅看護学特論	在宅療養者及び家族のQOL向上に貢献できる看護実践のあり方を探究すると共に、在宅ケアに関連する今日的課題及び課題解決の方向性について、諸理論や社会システム、政策との関わりにおいて考究する。講義は各学生の看護実践経験と学際的アプローチを統合し、学生の主体的学習を基本とする。	教授 片山陽子 准教授 岡田麻里
		在宅看護学演習	在宅看護に関連する理論を理解し、看護実践の質向上に貢献するための研究的アプローチと研究倫理を考究する。学生の臨床疑問に基づき、適切な看護研究過程を展開できることを目的に特論に続き、文献レビューを実施し、研究課題と目的を明確化する。研究課題・目的に応じた研究方法と科学的な検証方法の選択についてゼミナール形式で学修し、研究計画立案のプロセスを展開する。	教授 片山陽子 准教授 岡田麻里

科目区分		授業科目の名称	講義等の内容	担当教員
専門領域科目	精神保健看護学領域	精神保健看護学特論	メンタルヘルスに問題をもつ人が、その人らしく生き生きと生活することを目的として、生活の質を向上する支援を実践するための理論的基盤を学ぶ。また、対象者に内在する能力・自信・願望などのストレングスへの着目と、効果的な社会的資源の活用によって、対象者の健康と自立を支援する方法を学ぶ。 さらに、認知行動療法の理論と方法を学び、対象者が自分自身で自らを助ける（自助）ための援助方法を学ぶ。	教授 則包和也 准教授 土岐弘美 講師 多田羅光美
		精神保健看護学演習	メンタルヘルスの問題に関する看護支援の開発を踏まえて、学生が関心をもつ領域の文献検討によって、問題の明確化と研究課題の絞り込みを行う。その後、研究課題の意義と背景、研究目的や研究方法の設定を経て、プレゼンテーションと討議から得た知見を活かして、研究計画書を作成する。	教授 則包和也 准教授 土岐弘美 講師 多田羅光美
	療養支援看護学領域	臨床実践看護学特論	あらゆる健康レベルにある対象者とその家族を全人的に理解し QOL を高めるための看護実践について探求する。主要な概念・理論・モデルを系統的に理解すると共に、これらを用いて、自己の経験した事例を分析し、理論・モデルの実践的活用を目指す。加えて、急性期・慢性期・回復期・終末期の研究の動向や今日的課題、最新医学に伴う看護ケアの開発、生命倫理の問題についても探求する。	教授 近藤真紀子 准教授 岩本真紀 准教授 森田公美子 講師 岡西幸恵
		臨床実践看護学演習	院生の関心領域に関して文献レビューを行い、国内外の研究の動向を明確にする。この過程を通して、修士論文でとりくむ研究課題とその意義を明確にする。加えて、修士論文で実施する研究方法論の理論的基盤・データ収集方法・分析法、および倫理的配慮についての検討を深める。	教授 近藤真紀子 准教授 岩本真紀 准教授 森田公美子 講師 岡西幸恵
		老年看護学特論	老年期にあり、健康問題（認知症など）をもつ対象者とその家族を全人的に理解し、Quality of life を高める看護について探求する。そのために、老年期の心理社会的課題、高齢者総合機能評価、認知症高齢者ケアモデルなど、Quality of life を高める看護実践を支持する理論的基盤、概念について学ぶ。さらに、老年看護学の動向や今日的課題を分析・考察する。	教授 吉本知恵 講師 竹内千夏
		老年看護学演習	学生の関心領域に関する文献レビューを行い研究の動向を把握すると共に、プレゼンテーション及びディスカッションを行い研究課題と研究の意義を明確化する。また、研究課題を明確化するための研究方法や倫理的配慮について検討し、研究計画書を作成する。	教授 吉本知恵 講師 竹内千夏

科目区分		授業科目の名称	講義等の内容	担当教員
専門領域科目	次世代育成看護学領域	ウィメンズヘルス看護学特論	生涯を通じた女性と家族の健康支援を目指し、ライフサイクル各期、子どもを産み育てる妊娠・出産・育児のライフステージ等、各々の発達段階における健康課題について、ウィメンズヘルスの観点から性と生殖に関する看護の諸概念・理論・方法論について学習する。特に、(1)性と生殖に関する今日の問題と課題、(2)母性・父性や育児性などの主要概念、(3)次世代育成と支援方法に関する諸理論、(4)子育てにおける相互浸透行為と乳幼児虐待など問題への対応、(5)学童期・思春期の健康など、女性と家族の健康支援に焦点をあてたウィメンズヘルス看護学に関する知識の体系化を目指し、専門性・独創性を重視した看護実践方法について探究する。	教授 木戸久美子 教授 植村裕子 講師 松下有希子
		ウィメンズヘルス看護学演習	ウィメンズヘルス看護学特論で学習した諸概念・理論・方法論を基盤として、看護実践に必要な能力を養う。文献クリティークと事例検討を行い、自らの研究課題と修士論文作成に反映する。特に、生涯にわたる女性と家族や子どもと親の健康支援について探究する。(1)ライフサイクル各期、妊娠・出産・育児のライフステージにおける女性の健康課題、(2)親と子と家族の健康課題と発達支援の方法、(3)遺伝相談や不妊治療などの生殖補助医療に関する今日的な課題の分析について焦点をあて、心理学的・文化社会的な特性を踏まえ、より健康的な生活を目指したウェルネス志向型のウィメンズヘルス看護学について科学的に探究する。	教授 木戸久美子 教授 植村裕子 講師 松下有希子
		小児看護学特論	子どもとその家族を理解する様々な理論を学習し、子どもとその家族が健康に生活できる力をつけるための支援方法について探求する。さらに、複雑な健康問題がある子どもとその家族がおかれている現状や問題点についても概観し、社会的な資源の実際と活用方法、調整方法について学習し、子どもの健康レベルや状況に応じた、子どもの発達を支援する効果的なケアについて検討する。	教授 枝川千鶴子
		小児看護学演習	小児看護学特論での学びを基に、より深く探求したい関心領域の国内外の文献レビューと、実践現場のリサーチを行い、新たな研究課題を見出す。その過程で、文献のクリティークとディスカッション、プレゼンテーションの能力を高める。	教授 枝川千鶴子

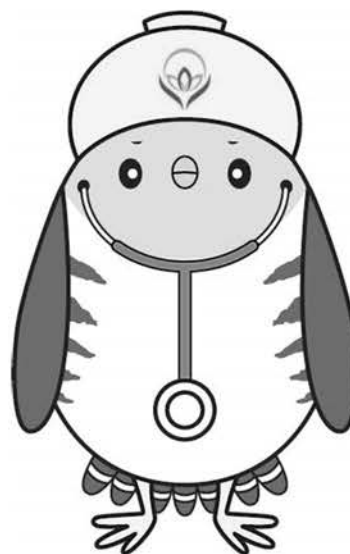
科目 区分	授業科目の名称	講義等の内容	担当教員
特 別 研 究 科 目	看護学特別研究	(概要) 基盤開発看護学領域(基盤看護学)、精神保健看護学領域、地域看護学領域(公衆衛生看護学、在宅看護学)、療養支援看護学領域(臨床実践看護学、老年看護学)、次世代育成看護学領域(ウィメンズヘルス看護学、小児看護学)の中から希望する研究科目を選択し、当該科目における研究課題の解決方法等について、担当教員の指導のもと修士論文の作成に向けて研究を行う。	
	基盤開発看護学 領域	自己の研究課題に沿って研究計画を立て、研究遂行に関わる諸条件を整え研究計画書の完成度を高める。さらに、具体的な研究手法、すなわち、データ収集やデータ分析のスキルの精練を図りながら、研究を進める中で生じる疑問や課題の解決のためのディスカッションを重ね、研究展開を推進する。このプロセスの中で、フィールド調査から得られたデータを分析し、研究課題についての考察を深め、論理的・一貫性のある修士論文を完成する。主として担当できる分野は、(1)看護教育に関する研究(2)患者教育に関する研究、(3)糖尿病看護、がん看護に関する研究である。	教 授 小野美穂
		これまでの実践経験や文献検討を通じて、自己の関心のある健康問題に焦点を当て、その解決に向けたエビデンスを探索するための具体的な研究手法を学び、研究計画書を立案する。その計画に基づいて研究を実施し、結果の分析および考察を行い、一貫性のある論文としてまとめあげるプロセスを踏む。主に担当可能な研究分野は以下のとおりである。(1)中医学の視点からみた、学生の健康自主管理意識および行動変容に関する研究(2)伝統医学と現代医学の融合によるセルフケア技術に関する研究(3)中医学の視点による、情緒と疾病の関係性に関する研究(4)中医学の健身気功が高齢者の孤独感の緩和や認知症予防に与える効果に関する研究である。	教 授 呉 小玉
		文献レビューと研究方法に関する検討、ゼミナールで討論やプレゼンテーションを行い、研究課題を明確化する。特に実際に機器を用いた量的研究の方法論を習得し、データの収集、解析に必要な研究能力を身につける。主として担当できる分野は、(1)胃瘻造設者等における消化管運動の研究、(2)在宅看護における超音波検査技術の応用に関する研究、(3)看護学生における機器を用いたアセスメント能力向上に関する研究である。	教 授 筒井邦彦
	地域看護学領域	在宅看護学領域における知見や自らの臨床疑問を基に、在宅看護学演習に続き、研究課題の焦点化、研究方法の精選に関する検討を重ね、研究プロセスを実施する。研究プロセスの実践においては、ゼミナールで討論やプレゼンテーションを行い、学生の主体的学修を基盤に修士論文の作成を支援する。主として担当できる分野は、(1)在宅高齢者のエンド・オブ・ライフケアに関する研究、(2)在宅ケアに携わる看護師の育成や支援に関する研究、(3)Advance Care Planning (ACP)、意思決定支援に関する研究である。	教 授 片山陽子

科目 区分	授業科目の名称	講義等の内容	担当教員
特別 研究 科目	地域看護学領域	公衆衛生看護学領域における自己の問題意識を基に文献検討の充実を図り、研究課題の明確化及び焦点化、研究方法の精選を行い研究計画の立案及び研究の実施、修士論文作成に向けて支援する。主として担当できる分野は、(1) 保健活動推進のための地域診断に関する研究、(2) 公衆衛生看護活動に関すること、(3) 公衆衛生看護学の教育方法に関する研究である。	教 授 辻よしみ
		地域・在宅看護学領域における社会的背景を踏まえ、自己の臨床経験等を振り返り、論文クリティーク、研究課題の明確化を行う。自らの研究テーマと地域課題のつながりを考察し、地域貢献につながる研究展開を推進する。主として担当できる分野は、(1) 地域で活動する障がいや病をかかえる自助グループ支援に関する研究、(2) 地域包括ケアを推進する多職種連携と人材育成に関する研究、(3) 在宅や施設における看取りケアに関する研究である。	准教授 岡田麻里
		地域で暮らす人々やその家族、それらの人々に関わる保健師の課題について、自己の問題意識を基に文献検討やディスカッションを通して研究課題を明確にしていく。また、研究のプロセスに沿って修士論文作成までの一連の過程を支援する。主として担当できる分野は、(1) 保健師の地区活動に関する研究、(2) 保健師の公衆衛生看護技術に関する研究、(3) 公衆衛生看護学の教育方法に関する研究である。	講 師 植原千明
	精神保健看護学 領域	精神と身体を包括的に捉える視点を持ち、メンタルヘルスに問題を持つ人への看護について、認知や感情、行動等の関連に着目しながら、常に対象者から学びつつ、自己対処能力を支援するアプローチについて深く探求する。主として担当できる分野は、(1) 精神疾患をもつ人への治療的な看護の研究、(2) 認知行動療法を活用した看護の研究、(3) 精神疾患をもつ人や家族への心理教育に関する研究である。	教 授 則包和也
		メンタルヘルスに健康問題をもつ人、認知症をもつ人、その人を取り巻く人々を対象とした学生の研究課題が、臨床や教育に貢献できる知識や新しいアイデアを生み出す枠組みとなることを目指し、研究のプロセスに沿って、修士論文を作成することを支援する。主として担当できる分野は、(1) メンタルヘルスの健康問題をもつ対象者や家族の支援に関する研究、(2) 認知症をもつ対象者や家族、その人を取り巻く人々に関する研究、(3) 看護職者のメンタルヘルスに関する研究である。	准教授 土岐弘美
		メンタルヘルスに健康問題を持つ人ならびに家族、支援者である看護職のメンタルヘルスや看護職の継続教育に関連した研究課題を文献検討やディスカッションを通じて探求する。そして、研究の一連のプロセスに沿って、修士論文を作成することを支援する。主として担当できる分野は、(1) メンタルヘルスの健康問題をもつ人や家族への支援に関する研究、(2) 看護職者のメンタルヘルスに関する研究、(3) 看護職者の継続教育に関する研究である。	講 師 多田羅光美

科目 区分	授業科目の名称	講義等の内容	担当教員
特別 研究 科目	療養支援看護学領域	病いと共に生きる患者とその家族の有する健康問題を解決し、QOLを高めるための看護方略の創造を目指して、修士論文の一連の過程を支援する。主として担当できる分野は、(1)質的帰納的研究手法を用いた研究、(2)病いを有する（急性期・慢性期・回復期・終末期）対象とその家族への支援方法の開発に関する研究、(3)医療倫理・看護理論に関する研究、(4)看護実践の理論化に関する研究など、臨床に即した研究である。	教 授 近藤真紀子
		様々な健康問題を抱える人々やその家族、それらの人々に関わる看護職の課題について、自己の問題意識を基に文献検討を行い、研究のプロセスに沿って修士論文が作成できるように支援する。主として担当できる分野は、(1)健康問題を抱える人または家族の持つ力に関する研究、(2)健康問題を抱える人の意思決定支援に関する研究、(3)成人看護学の教育方法に関する研究である。	准教授 岩本真紀
		成人看護学領域の看護実践から引き出された研究課題に対し、看護実践に貢献する成果を得ることを目指した修士論文の作成を支援する。主として担当できる分野は、(1)疾患と治療による生活の変化や全人的な苦痛を体験する人の対処とその支援に関する研究、(2)各疾患の特性と対象者のライフサイクルを踏まえた看護に関する研究、(3)成人を対象とした専門看護領域をもつ看護師の実践知とそれを高める教育に関する研究である。	准教授 森田公美子
		加齢および疾患に伴う健康問題を持つ高齢者とその家族、それらの人々に関わる看護職の課題について研究プロセスに沿って修士論文の作成を支援する。主として担当できる分野は、(1)病院から在宅への移行期にある高齢者や家族への支援に関する研究、(2)看護職の移行支援に関する研究、(3)老年看護学の教育方法に関する研究である。	講 師 竹内千夏
		様々な健康レベルにある成人期の患者・家族が抱える健康問題やその看護に関する臨床疑問を研究課題につなぎ、研究のプロセスを踏みながら修士論文完成に向けて支援を行う。主として担当できる分野は、(1)健康問題を抱えながら生きる人の調和に関する研究 (2)がんサバイバーの健康を支える看護支援に関する研究 (3)成人看護学領域の教育方法に関する研究である。	講 師 岡西幸恵
	次世代育成看護学領域	母性看護学および助産学の視点から、女性の生涯にわたる健康に関する課題を明確にし、修士論文完成にむけて研究支援を行う。主として担当できる分野は、ウィメンズヘルスケア及びマタニティケアに関する研究領域のうち(1)妊娠前からの女性の健康を考えるプレコンセプションヘルスケアに関する研究、(2)育児を行う母親および父親の精神面の健康（産後うつ）とその支援に関する研究、(3)知的障害や発達障害のある女性の妊娠、出産、育児支援に関する研究、(4)母性看護学及び助産学領域の教育方法（シミュレーション教育を含む）に関する研究である。	教 授 木戸久美子

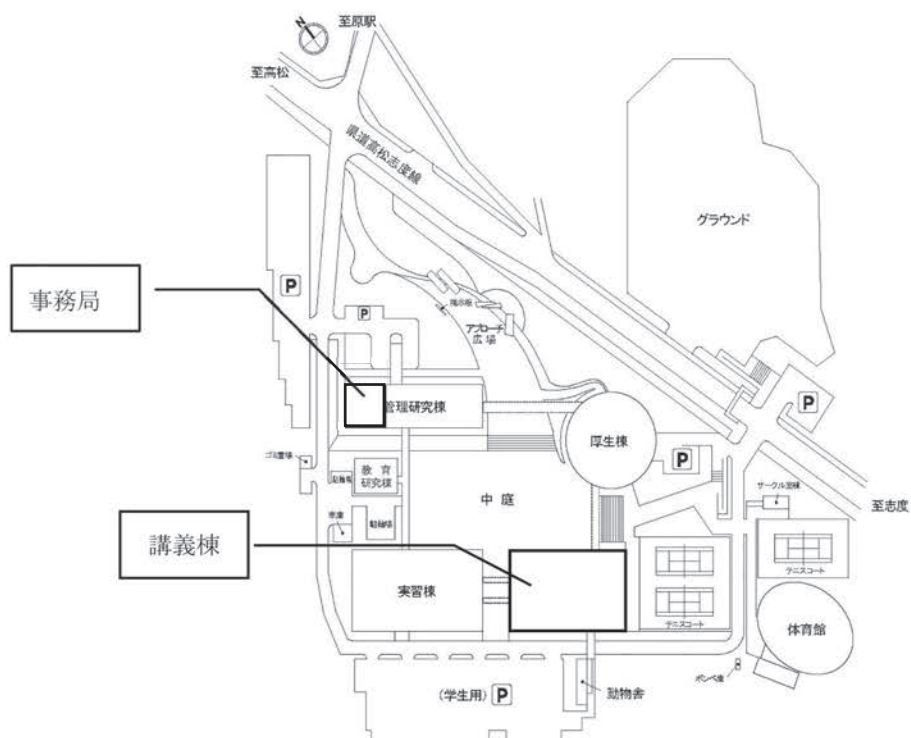
科目 区分	授業科目の名称	講義等の内容	担当教員
特別 研究 科目	次世代育成看護学 領域	小児看護学の文献検討をもとに、社会に還元できる研究ができるように支援する。主として担当できる研究分野は、(1)子どもと家族の健康管理および病気対処行動に関する研究、(2)ハイリスク新生児と家族の看護に関する研究、(3)在宅移行期における子どもと家族の支援に関する研究などである。	教 授 枝川千鶴子
		母性看護学および助産学の視点から、女性と家族の生涯にわたる健康に関する課題を明確にし、修士論文完成に向けて研究支援を行う。ウィメンズヘルスケアおよびマタニティケアに関する研究領域のうち主として担当できる研究分野は、(1)母性看護学および助産学領域の教育（教材開発、シミュレーション教育）に関する研究、(2)女性と家族の健康支援に関する研究（育児支援を含む教材開発）、(3)マタニティケアに関する研究である。	教 授 植村裕子

大学までの交通案内



- 西方面から
高松から 国道11号 車で30分
ことんでん志度線原駅下車 徒歩10分
- 東方面から
JR高徳線 志度駅から 車で5分

入学試験会場案内図





香川県立保健医療大学

〒761-0123 香川県高松市牟礼町原281番地 1

TEL 087-870-1212

ホームページ

<https://www.kagawa-puhs.ac.jp/>